

財務分析からみえる非効率性

～企業価値向上に向けた株主提案～

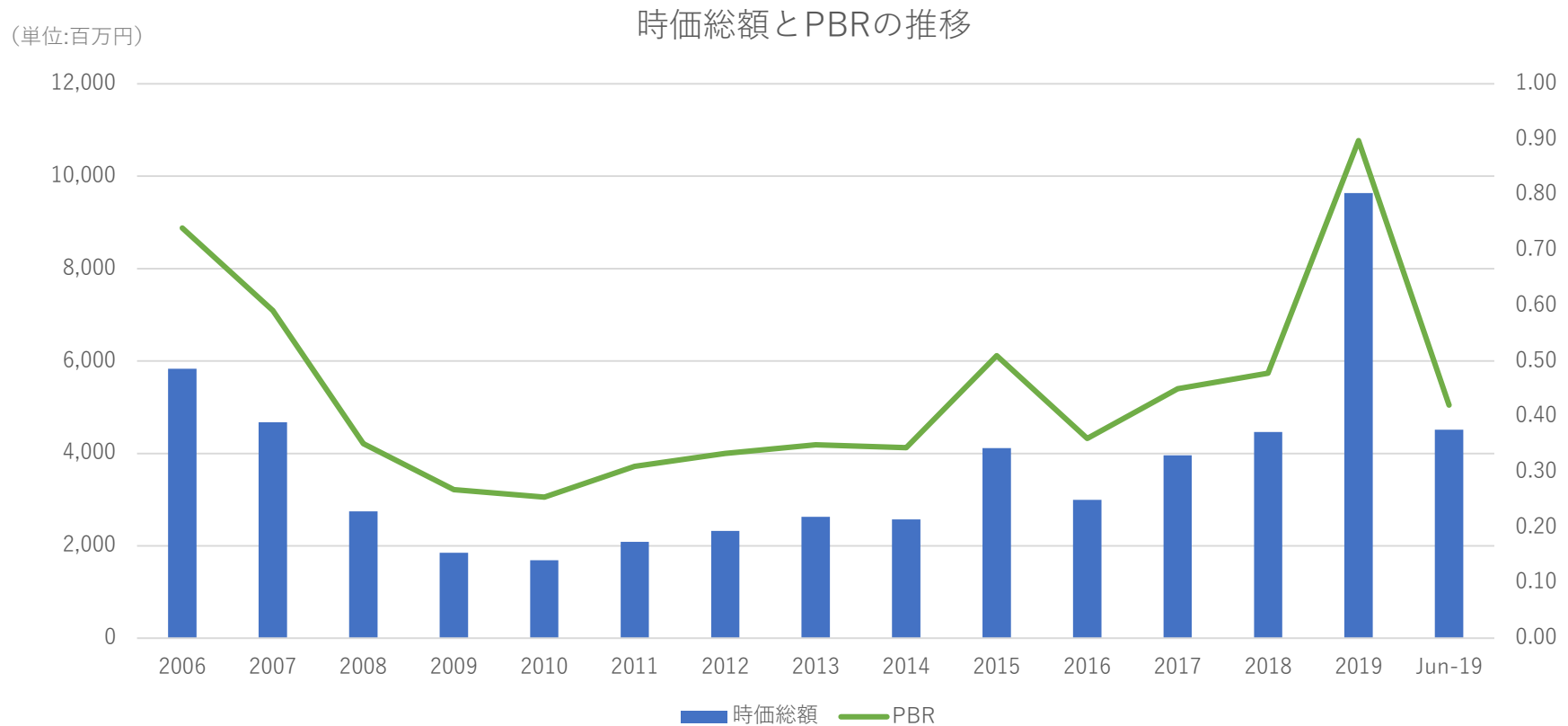
キクカワエンタープライズ株式会社 御中

2019年11月12日

貴社の経営状況と弊社要望

- 低水準なPBRが常態化
- 主な要因は極めて非効率的な資産配分
- 特に現金及び預金の歪な構成が影響している
- 使用用途の無い資産は株主に還元すべき
- 企業価値向上に向けた財務戦略は早急に必須である
- 特別配当及び配当政策の基本方針の変更を実施

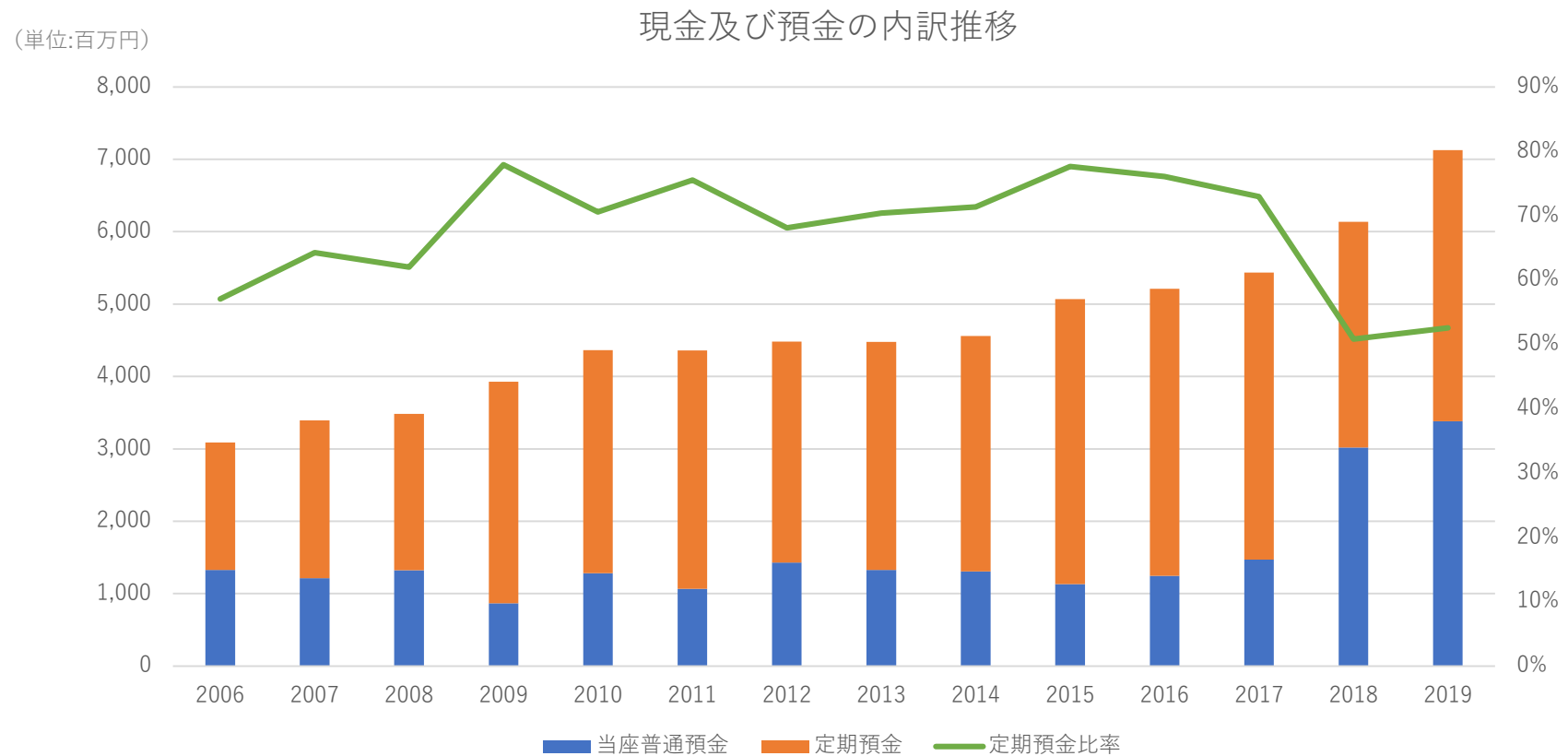
- ・潤沢な資産を活用できておらず、**マーケットからは評価されていない**
- ・過去13年間の**平均PBRは0.44倍**と非常に低水準



※開示資料に基づきUnearth International Limitedが作成

現金及び預金の歪な配分状況

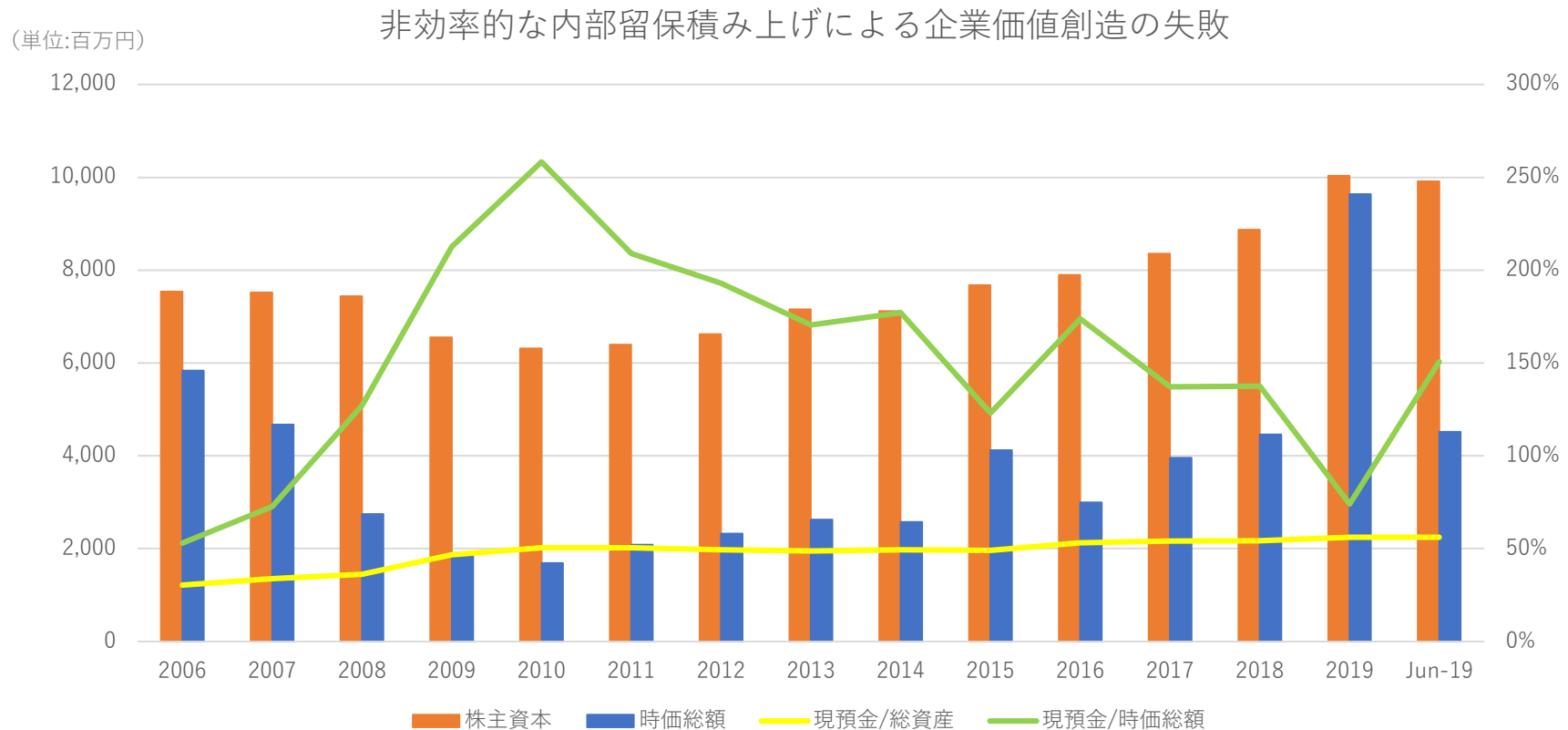
- ・ 上場企業として異常な定期預金比率が続いている
- ・ これほど過大な定期預金は使用用途の無い資産と言わざるを得ない



※開示資料に基づきUnearth International Limitedが作成

非効率的な資産配分

- ・ 長年、**総資産の約50%を現預金**として保有しており、有効活用できていない
- ・ **時価総額以上の現預金**を保有し続ける非合理的な資産配分



※開示資料に基づきUearth International Limitedが作成

弊社要望

①3年間の特別配当を実施

→1株当たりの年間配当額を**200円に設定** ※現在1株当たり配当額：70円

②配当政策の基本方針の変更

→業績に応じた利益還元として**配当性向35%程度**を目安に配当を実施する。
※過去5年の平均配当性向：15.5%

Unearth International Limited (以下「UIL」といいます。)は、本資料に掲載している情報の正確性について万全を期しておりますが、その内容について保証するものではありません。

著者あるいは発行者は、本資料においては法務、会計、税務あるいはその他の専門的なアドバイスあるいはサービスを提供しているものではないという認識で、情報を提供しています。

そのため、本資料に掲載されている情報を、専門的な会計、税務、法務、その他の権限あるアドバイスの代用として用いるべきではありません。

本資料では、信頼できる情報源から得た情報を、確実に掲載するようあらゆる努力をしておりますが、UILは、間違い、情報の欠落、あるいは、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して一切の責任を負わないものとします。本資料に掲載されている全ての情報は、その時点の情報が掲載されており、完全性、正確性、時間の経過、あるいは、情報の使用に起因して生じる結果について一切の責任を負わないものとします。また、あらゆる種類の保証、それが明示されているか示唆されているかにかかわらず、また業務遂行、商品性、あるいは特定の目的への適合性への保証、また、これらに限定されない保証も含め、いかなることも保証するものではありません。

いかなる場合にも、UIL、その関連するパートナーシップ、法人、パートナー、代理人、ならびに従業員は、本資料に掲載されている情報によって決定を下したり、あるいは行為を起こしたことにより、結果的に損害を受け、特別なあるいは同類の損害を蒙ったとしても、またその損害の可能性について言及していたとしても、一切の責任を負いません。

本資料で掲載されている外部サイトへのリンクは、第三者が運営しているもので、私どもは管理しておりません。UILが、その正確性や第三者のサイトに掲載されている情報について内容の正確性を保証ないし推奨するものではありません。